

次号予告

特集 グラフ理論とOR

- 木構造の性質とその応用.....土屋翔一 (専修大学)
平面グラフ・曲面上のグラフ.....野口健太 (東京電機大学)
経路問題と離散数学—重みのあるグラフとないグラフ—.....小田芳彰 (慶應義塾大学)
ハミルトン閉路について.....小関健太 (国立情報学研究所)
グラフの部分彩色とその拡張問題.....斎藤 明 (日本大学)
線形計画問題による Vizing 予想へのアプローチ.....古谷倫貴 (北里大学)

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●今月号には国際会議 ICCOPT 2016 Tokyo のルポが掲載されています。会議の最中に口頭で依頼するという形になってしまったのですが、森口先生、檀先生、林先生には執筆を快く引き受けていただき、会議の様子や雰囲気伝えていただきました。この場を借りて3名には心よりお礼を申し上げたいと思います。ただし林先生からは、交換条件として秋季研究発表会のルポの執筆を依頼され、自分は仕方なく…ではなく快く引き受けたことを付け加えておきます。

●さて ICCOPT ですが、水野眞治先生、土谷隆先生、村松正和先生の3名による統率の下で盛況のうちに終了しました。自分も実行委員会の一員として3年前か

ら微力ながら活動してきました。一方で実行委員会において、まさに獅子奮迅・国土無双・空前絶後の活躍をされたのが後藤順哉先生でした。今回の4日間17会場540件の研究発表のプログラムは、後藤先生がほぼ独力で作り上げたと言っても過言ではありません。

●実行委員会ではほかにもさまざまな出来事(事故?)があったのですが、そのような実行委員会の苦労と成功の過程を記録に残すために、来月号から本誌では ICCOPT 実行委員会による活動記録を掲載する予定です。現在は鋭意編集作業中となっておりますので、どうぞご期待ください。(高野祐一)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 猿渡 康文 (筑波大学)

特集担当編集委員 鶴飼 孝盛 (慶應義塾大学)

委員 池辺 淑子 (東京理科大学), 石井 儀光 (国立研究開発法人建築研究所), 井床 利生 (日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所), 鶴飼 孝盛 (慶應義塾大学), 小林 隆史 (立正大学), 榎原 静 (株式会社東芝), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 佐藤 圭介 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 高野 祐一 (専修大学), 中原 孝信 (専修大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社 NTT データ数理システム)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 28 年 11 月号 第 61 卷 第 11 号 通巻 671 号

代表者 大山 達雄

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。